

[計画書]

[報告書]

研究会の名称	社会技術革新学会 韓国学教育研究会	平成 年度
題目	経済・社会から文化・歴史まで若者が語る韓国の姿から教育のあり方を検証	
参加者 (座長◎ 副座長○)	◎金宝藍 ○今給黎佳菜 中屋雅江 松田弥花 増田 優 榎 尚史 奥田有香 古川 裕 桜井邦夫	
研究開始年月及び 研究終了予定年月	平成25年4月 ~ 平成27年3月	企画運営委員会受理 平成 年 月 日
研究の目的	市民同士の草の根の交流は、お互いの間に生ずる諸々のリスクを和らげ豊かな相互理解を深めるための最も有効な手段である。隣国である韓国の実態を深く幅広く学ぶために、教育のあり方について実践を通して調査研究する。	平成 年度
研究計画の内容	知の市場の科目として「韓国学1」を15名の若手講師がそれぞれの専門分野や経験について語り、多様な切り口から韓国の実像を浮かび上げさせながら講義するとともに、受講者との対話を通して、教育のあり方について検証する。	企画運営委員会受理 平成 年 月 日 平成 年度 企画運営委員会受理 平成 年 月 日
受理番号	企画運営委員会 受理 平成 年 月 日	